

四中の平成21年度が無事終了いたしました。混沌としたこの時代に、社会で通用する人づくり、希望をもって努力する人づくりをめざして教育を進めてきました。こうした社会情勢では、生徒は将来への不安・悩みを少なからず、皆持っています。

この時代だからこそ、中学時代に身につけておきたい「努力する力」「あきらめない心」「将来の進路を支える基礎学力」が身に付くよう日々教育実践を積み重ねてきました。

教職員全員が意識して日々教育活動を実践し、生徒の学習意欲や行動の意識が高まってきたことは喜ばしいことです。明日への希望をもって努力する教育をこれからも継続していく決意です。

## 【第63回 感動の卒業証書授与式】

63期となる卒業生20名が無事、巣立っていきました。この季節は「別れの寂しさ」「旅立ちの喜び」「新たな出会い」など、人の成長にとって欠かせない区切りの季節です。卒業生は、涙と明日からの希望への笑顔の両方の顔を見せながら卒業していきました。

式では、「失敗経験を生かし、挑戦する青春を送ろう」と呼びかけました。厳しい社会情勢ですが、努力し続けることで、自分の将来を切り開いてほしいと思います。四中の思い出を胸に、たくましい人間に成長してくれと願いながら送り出しました。

小川君の心に残る答辞には皆感動し、「四中への思い」「共に学んだ友への思い」の深さを改めて感じました。

## 【転出する職員の紹介】

勤務年数に違いはありますが、四中のために頑張ってくれた職員が、新しい学校やそれぞれの新天地へ異動します。これまで、授業、部活動、学校事務など熱心にお勤めいただいたことに感謝したいと思います。

大前 孝之 教諭 (邑南町立石見中学校へ)  
表田 知之 講師 (辞職)  
前田 陽子 主事 (辞職の後、国府小学校へ)

## 【3年生を送る会】

恒例の「3年生を送る会」では、四中らしい温かな雰囲気の中で3年生を送ることができました。

在校生全員による合奏は四中ならではのものです。2年生の器楽と1年生のリコーダーは息がピッタリ合っていていい雰囲気でした。



## 【63期四中同窓会入会式】

卒業式の前日に、四中同窓会の会長、副会長さんをはじめ理事の方の祝福を受けて同窓会に入会し、63期同窓生となりました。

四中同窓会は、昨年から、卒業式前に入会式を行っています。今年も卒業生はそれぞれ各地の高校へ進学し、離れ離れになりますので、また会う日がいつになるかわかりません。四中の仲間としてこの絆を大切にしていって欲しいと思います。

次に皆が会うのは成人式でしょうか？

## 【毎年恒例の餅つき】

四中の田で自分たちが作った「四中米」を使って、毎年、卒業前に餅をついて卒業生や来賓の方に贈っています。

今年は、地域ボランティアの方にもお手伝いいただいて、紅白餅をつきました。今年はおもちつきの希望者はすべて男子でしたので、餅をこねるのも男子が行いました。ご苦労様でした。

## 【地域の皆様へのお礼】

この1年間、四中教育にご理解とご支援いただき、本当に有難うございました。また、この「四中通信」をご覧いただき感謝申し上げます。学校へ関心をもっていただくことが地域からの学校へのお力の一つと考えます。今後もよろしく願っています。



### 【今後の授業時数について】

平成21年～23年の3ケ年間は、新指導要領への移行期間として、教科の時間数が変動しています。24年の完全実施にむけて、段階的に授業時数と内容を増加・調整していくものです。

24年度には、現在の総授業時数よりも全体で35時間増えますので、教育課程全体を再構築する必要があります。22年度は2・3年の数学・理科が増加し、選択教科が減少します。こうした教育内容の変化に対応していかなくてはなりません。

四中でも、これまでの伝統となっている総合的な学習での稲作など、体験活動を生かしながらも、学力をしっかりとつける教育課程のあり方を工夫してまいります。そのために、地域・保護者の皆様のお力を借りることが多くなると思いますが、ご協力のほどよろしく願いいたします。

### 【卒業生による奉仕作業】

毎年、卒業を前に、三年生は校舎の清掃など奉仕活動をしています。今回は、来年新設されるつばさ学級の壁のペンキぬりを行いました。

クリーム色になった学級は明るくなり、新入生がやってくるのを待っています。



### 今後のおもな予定

4月	8日	木	着任式 始業式 弁当
	9日	金	入学式(午後) 弁当
	12日	月	新入生を迎える会 給食開始
	13日	火	学力テスト
	18日	日	しまね家庭の日
	20日	火	全国学習状況調査(中3)
	22日	木	石見地区野球予選
	25日	日	参観日・PTA総会(午前) 弁当
	26日	月	振替休業日
	29日	木	石見陸上(市陸上競技場)

### 【美川文化発表会で演奏：音楽部】

昨年から、音楽部は美川の文化発表会に出演しています。今年は「アンパンマンマーチ」など3曲を演奏し、好評でした。2月の文化ホールでの「吹奏楽の集い」でも好演し、「四中はうまくなったね。」との声しきりでした。毎日の基礎練習の積み重ねでどんどん音が良くなっています。

ちなみに、美川幼稚園は、「神楽遊び」を披露しました。太鼓のリズムもピッタリ合い、可愛らしい舞いに拍手喝采でした。

美川小学校は、4年生全員のリコーダー演奏と詩の群読でした。こちらも一人ひとりがセリフに合った動作をつけて発表し、好評でした。



### 【あいさつは何のために？】

小さな頃から躰けられ、当然のように「あいさつ」をすることの大切さはわかっている？はずなのですが、子どもたちは果たしてどうでしょうか

23年度から、島根県では「ふるまい向上」教育(乳幼児期からの生活習慣づくり)を、指導するようにしています。

「あいさつ」～これは、キャリア教育での大切な能力となります。キャリア教育で育てる能力として、「将来設計能力」「情報活用能力」「意思決定能力」そして「人間関係形成能力」があります。

仕事をしていく上で欠かせない「人間関係形成能力」の基本は『あいさつ』です。職場体験活動で生徒がまず知るのが、「あいさつ」の大切さです。

これからは、「生きていく力」の基本的となる力として「あいさつ」をとらえ、生徒自らが自覚するよう指導していきます。

### 『一個の人間』 武者小路 実篤

自分は 一個の人間でありたい  
誰にも利用されない  
誰にも頭をさげない  
一個の人間でありたい

他人を利用したり 他人をいびつにしたりしない  
そのかわり 自分もいびつにされない  
一個の人間でありたい

自分のもっとも深い泉から  
もっとも新鮮な 生命の泉をくみとる  
一個の人間でありたい